

ごぼれ話

今年のプロ野球界は話題満載であった。中でも岩手出身の大谷二刀流の活躍と「神ってる」の流行語まで飛び出した広島カープの破竹の勢いとリーグ優勝である。これまで広島カープなど眼中になかった宮古人でも、広島が好きになった方も少なくない。それは黒田投手の存在とチームを支えているのが多くの広島市民だということのようだ。

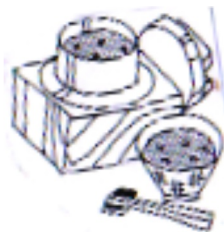
ある野球好きの男性グループ3人はコーヒーを飲みながら野球談議に花を咲かせていた。A「俺はズーと巨人ファンだったことも今年から広島だ」と切り出した。B「なんでや」

「やっぱり泥臭さつうがあの市民のひたむきなサポートだよな」と強調グ優勝である。これまで

わが家の



【鮭のアラ汁】



ク200円前後で並んでいきます。これは

「材料」鮭のアラ、大根、ニンジン、長ネギ、豆腐、長ネギ、塩、醤油、酒、みりん、出汁の素。「つくり方」私は2日に一度は魚屋を覗いていますが、鮭のアラがワンパッ

絶対使うべきだと思えます。シンプルですがアラ汁がいいですね。①アラはもう一度水で洗います。大根、ニンジン、長ネギ

秋サケ漁(尾数)は前年同期比に回復。残る約1ヶ月余の挽回に関係者の期待が

秋サケ漁は

延縄漁／捕獲尾数は2.5倍

捕獲尾数は前年同期比を
超える！河川は91%に

11月下旬からサケ漁が好調で伸び始め、宮古管内の定置網では前年同期比で103%に、県沿岸全体では86%の状況です(12月10日現在)。

定置、はえなわ漁とも

に挽回。河川はまだ追いつかず

12月10日現在の秋サケ

942尾で前年比88%。64尾で前年同期比91%。●はえ縄漁(宮古管内)は1万7945尾で前年比2.53倍、金額は3496万で、1隻(83%)です。

●定置漁(宮古管内)／尾数5万1448尾で前年同期比103%。重量は前年比100%。金額は13億円で前年比124%です。平均単価は789円で前年比124%です。

●宮古管内河川(撰待川、田老川、閉伊川、津軽石川、重茂川／海産含む)の捕獲尾数は4万56



読者の文芸欄

短歌 金沢邦臣(田鎖)

●冬の朝赤みさす指ほてりきて冷たさこらえ洗いもの干す
●眩しさの昨日と違う心地して冬至翌日昇る朝の陽
自注／21日は冬至でした。次の日から又日が長くなるという気があるためか、次の日の朝は光も強いように感じました。こうして10日ほどして新年がくるのです。

減額補正～取り下げや入札不調が少くない

減額補正が



0万円がすべて減額補正として示されました。

入札不調の背景には「仕事をとったとしても期日までに完了できる保証がない」などが横たわっています。

また、磯鶏7号線擁壁補修事業も全額減額が計上されました。これも当初予算に計上されながら「台風からの復旧事業を優先させるため」がその理由です。

人的体制が整わない～事業目的から外れ、関係者には失望、幻滅が

緊急必要性から当初予算に計上したのに、いわば市の都合で事業開始が中断、延期されるのは本来あってはならないことです。また、磯鶏7号線のように予算を議決して半年以上も入札すら行っていないのも問題で、改善が必要です。

12月定例議会に上程されている一般会計の補正予算の中で、当初予算で計上されながら途中で全額減額が少なからずあります。「台風被害からの復旧事業を優先させるため」「入札不調のため」などが主な理由ですが、浄土ヶ浜第一駐車場に向かう前須賀日立浜線道路整備事業や磯鶏7号線擁壁補修事業など

浄土ヶ浜の第一駐車場に向かう道路の拡幅事業は、観光事業に携わる多くの関係者からその整備が要望されていましたが、入札不調が原因で980



「ナメタ？そう簡単でねえのす」。雪辱戦へ！

釣り情報

大晦日まであと1週間と迫った。太公望は連日のように磯場に向かっている。ここまですればやはりナメタ狙いだ。正月用のナメタは絶対に必要だ。さらにメスだとなおさらいい。

移動式の仕掛けを使い、えさもゴバツと付けてメタの通り道に投入する。この「通り道」がわかる

かどうか、探し当てれるかどうかが鍵だ。津軽石の釣り吉2人は重茂半島のやはりインコの。朝5時出発。第1投は約7時少し前。突端に陣取る。その通り道に正確に投入する。それでもなかなか

当たりなし。午後2時、竿が90度に。アイナメの33匹。この日の最長サイズだ。二人でアイナメ11本、ゴマゾイ4尾。